

ランチ付き班会

山口・防府市

山崎郁代

私たちの班会は、毎回ランチを食べることから始まります。数カ月一度は気になるカフェやレストランでランチ。普段はお弁当を注文したり、ベアグルやお好み焼きをテイクアウトしたり。今回は、班長さんが用意してくださったおいしいメニューでランチでした。

農地として

横浜市

五島明子

一年以上放置されて草

ぼつぼつの畑がありました。今日、そばを通つたら、植えてあった木もたぐさんの草も根こそぎ抜かれていました。これも資材置き場になるのかなあ。

この畑は、高齢のご夫婦で野菜を作つていて、通りがかりの私たちに食べきれんからと大根、ジャガイモ、タマネギ、冬瓜などをくださいました。畑地として残すよう行政が何かできないのでしょうか。周囲は資材置き場が増えるばかりです。食料自給率が下が

川柳

素っぴんに打ち上げ花火容赦なく
山口・岩国市 ぶらり
お財布の冷氣猛暑に生かせたら
大阪府 松本みか

読者がつくるページ

ついでに、農地を農地として残すことは大事だと思います。

絵の力

岡山・赤磐市

塩谷憲子(69)



三重・津市 山際尋子

「妻夫木聡がゆくも」と知りたいたい沖繩、戦後80年特別企画——7月28日、NHK「あさイチ」のタイトルです。観光やグルメではなく、沖繩戦を伝える内容でした。嘉手納基地に隣接する

佐喜眞美術館の「沖繩戦の図」は、地上戦を体験した人々の証言にもとづき描かれたものです。少女のまなざしを見ていた妻夫木さんが思わず涙ぐみ、沖繩の人の声「日本人フ

みます。事実を伝える絵の力はすごいです。新婦人がとりこんでいる「原爆の絵」展は意義深いと感じました。また、アリストを言っている人の中に沖繩の人は入っていますか?」がありました。米軍基地や日米地位協定の中で暮らす沖繩の人は、日本人として扱われていない怒りを感じました。

おてんき てんきII

(2023)



原稿募集

☆テーマ：墓守どうする? / 戦後80年と私 / 故郷ごはん
投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合があります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを書いてください。掲載した絵手紙は新婦人のSNSに掲載する場合があります。

あて先 〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20
新婦人しんぶん編集部
ファクス03-5805-2372
Eメール s-press@shinfujin.gr.jp

問題



虫身光 A
+ 黙 C 体 B
D 焼 E 蟬身

ヒント

Table with 2 columns and 4 rows of math puzzles involving characters and numbers.

問い 「A<BよりもAかぬCがDをEがす。」「私もそう思います。」1~8のヒントも問題のうちです。当てはまるどころから、漢字を1字ずつ数字に置き換えて、最終的な答えA、B、C、D、Eを出し、その数字をもう一度漢字に直します。これで冒頭のことわざは完成ですが、答えにはABCDEの漢字を順に書いてください。※0~9の数字を全部使います。

★はがきかメールに、答え・住所・名前・電話番号を明記の上、送ってください。正解者のなかから抽選で10人にクオカードを送ります。
締切 9月9日(当日必着)
あて先 〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20 新婦人しんぶん「乱楽パズル」係
メール puzzle@shinfujin.gr.jp

★7月の答えは「狐キツネ(狸→狐→猫)」でした。正解者355人のなかから抽選で次の10人にクオカードを送ります。(敬称略)
赤井昌子、今村葉子、上田智恵美、川村さつき、佐藤富美子、高田夏江、築出理美、長谷川育、廣澤光子、松永光子

お茶くみ反対を申し出て

国際連合が設けた「国際婦人年」(1975年)には、山口県でも実行委員会がつけられ、私は事務局長に。集会や署名、県交渉を行いました。女性定年が25歳という会社、県庁の臨時職員などの問題を取り上げました。その後、山口市母親連絡会の事務局、県母親連絡会の常任、新婦人支部委員などを引き受け多忙でした。



退職後に新婦人の仲間とイタリア旅行へ。右が美穂子さん

山口地裁に入職した(1960年)当時、女性職員はお茶くみをしていました。朝30分早く出勤し、釜で沸かした湯を取りに行き、男性にお茶を出していたのです。夕方には茶碗を集めて洗い、割ったら謝り弁償です。ある日私は茶碗がごを落として、ほとんどを割ってしまいました。私の月給では足りず弁償は免除に。「お茶くみを止めさせてほしい」と申し出たとき、職場は大激論に。男性から分裂活動を心配する声もあった中で、組合婦人部を結成しました。当時はほとんどの男性事務官は係長などになり、女性は全員取り残されました。婦人部で所長室に押しかけ交渉すると、女性性は補助的な仕事で、生活費は夫や親に出してもらえ、という回答でした。昼休みに横になれる休養室を要求し、1年がかりで勝ち取りました。

母の歴史

聞き書き 山口県 宝迫美穂子さんのお話 (10)